

# 特集②『文房具』

## 生徒アンケート

次は『文房具』について。学生には必須アイテムの文房具ですが、便利なのはもちろん、カワイイものや、カッコいいものなど→

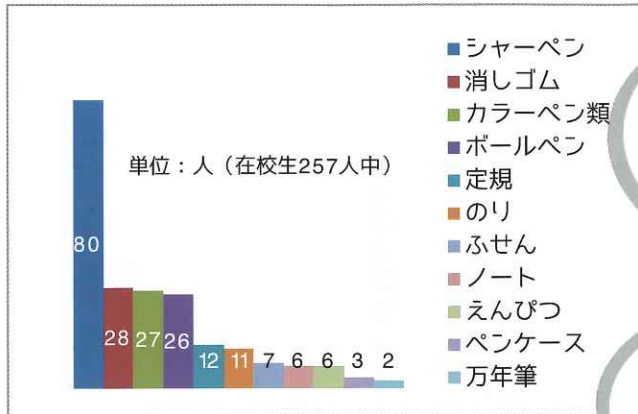


→種類も豊富、その進化からは目が離せません。ペンケースにお気に入りのアイテムが入っているだけでなんだか気持ちが切り替わりますよね。

生徒アンケート回収率：91.4%

Q. あなたのお気に入りの『文房具』をおしえて下さい。(複数回答可)

- ・シャープペン……80人 (31.1%)
- ・消しゴム……28人 (10.9%)
- ・カラーペン類……27人 (10.6%)
- ・ボールペン……26人 (10.1%)
- ・定規……12人 (4.7%)
- ・のり……11人 (4.3%)
- ・ふせん……7人 (2.8%)
- ・ノート……6人 (2.3%)
- ・えんぴつ……6人 (2.3%)
- ・ペンケース……3人 (1.2%)
- ・万年筆……2人 (0.8%)



人気No.1は断トツでシャープペン！芯が折れにくい、芯が回転などの高機能タイプや、カラー芯（黒以外に7色ほど、もちろん消しゴムで消せる）もありません！

その他少数意見に「小学5年生から使ってるしろくまのペンケース」、無印良品の物、などがありました。

## 気になる回答ピックアップ!

(生徒アンケートより)



いくつか回答をご紹介します。お気に入りポイントの説明もなかなかユニーク。そしてその中でも特に気になる回答は、実際に商品を購入、使い心地を検証してみました。

この『メアンケートですが、おわず取材決ま

中学生になるとシャープペン派が圧倒的に多くなりますが、鉛筆の使い心地も捨てがたい!

『鉛筆』  
細くて持ちやすい。自分のお気に入りの角度を見つけて書くのが楽しいからずっと書いていける。

かわいいもの、ユニークなもの、実用的なもの、いろんなタイプのふせんがあって、お店で見るだけでも楽しいですよ!

『DAISOのフィルム付箋極細タイプ』このふせんは透けて見えるので、蛍光ペンがないとき文字の上にはるとマーカーのかわりになるし、貼ってはがせるのでとてもいいです。

『6色 POST-IT 付箋』付箋としても使えるし、ノート作りの時にポイントを描くと、蛍光色でよく目立つ。

『付箋』テスト範囲がでたときにすばやくチェックできるし、教科書に書きこむより見やすく、何度でも使える。

『四角いスティックのり』紙の端まで塗ってはみださないのが便利です。

『テープのり』紙がしわしわにならずにノートにつけられてはがれづらいから。

『万年筆』まさにトリプルスリー！シャープペンやえんぴつでは味わえないなめらかさ  
+  
とめはねはらいが表しやすい  
+  
書き直せないことからのキンチョー感!

『文系』は文字が、『理系』は図形が書きやすいドット罫線が入ってるそう。ドットを目印にして自分なりに工夫できるのがいいかも。

『文系・理系それぞれで使いやすい罫線が入っているノート』

『ロジカルエアーノート』

紙の厚みや裏うつりのしにくさは従来のままに、20%ふんわり軽量化しているそうですよ。

『硬い下じき』うちわとしても使えるし便利だから。

『消すことができる色つきのボールペン』まちがえてもいいから安心して使える。

『チェックペン』テスト前にプリント等に線を引くことで文字をかくことができ、暗記の効率化が図れる

どうを凹

『短く

『素数も目盛りが試される

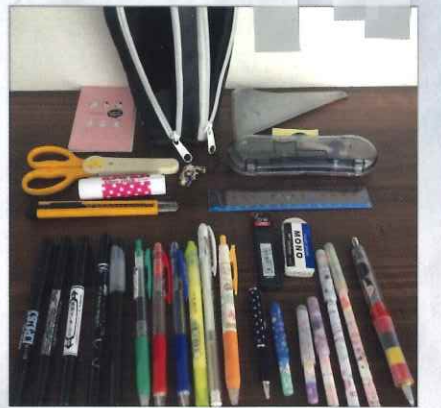


# ペンケースの中身 ちょっと見せて!



※2年 女子

さすが女子は色あざやか! ペン用にもう1つ筆入れを持っていったり。ノートの『映え』は大事よね!



※1年 女子



※1年 男子

予備のネームプレートを筆入れの中に入れておくの良いかも。ジャージ登校が多いから、いざ制服登校だと忘れやすいのよね~。

『ガミエ』のみ、には無かったの店で見かけて思定にしちゃいた...

## 取材No.①『メガミエ!』

メーカー希望小売価格300円(税抜き)

使い心地レポート  
・ホントにピントが合う!  
・ピンホール原理の意味を覚えられた。  
・学生時代、手をグーの形にしてすきまの穴を覗きこんでピントを合わせてたことを思い出した。



これのこと?

やらちびた鉛筆のお尻に削り連結させることが出来るらしい。気になる方は、検索してみてくださいね!

削った鉛筆をつなげる鉛筆削り!

のさし』  
素数しかない 想像力が。「京都大学不便益研究所」

ユーチューブ話題の文房具らしいのですが...

『ピリピリペン』  
ノックを押すとピリッとなる。ピリッにならなければボールペンとして活用できる。頭スッキリします。

『蛍光ペン PUROPUS』  
文字を見ながら線が引ける。ペン先に窓があるからはみ出さない。

『磁石付きの消しゴム』  
消しゴムに砂鉄が含まれていて磁石に消しカスが付いて捨てやすい。

これのこと?

## 取材No.②『磁ケシ』

メーカー希望小売価格280円(税抜き)

使い心地レポート  
・面白い! 消しカス集めが楽しくなりそう。いますよ!  
・ケースについての消しカスはケースのつまみを押しだすと落ちる仕組み。



消しカス、ちゃんとくっつく

『プリントをつなぐシール』

これのこと?

## 取材No.③『チョイタス』

メーカー希望小売価格290円(税抜き)

使い心地レポート  
・マスキングテープのように貼り直せる。  
・両面のプリントをノートに貼る時、のりだと困っていたが、これだと好きな所に貼ってはがせるのがよい。  
・のりを貼る手間がない。  
・価格が高めかも... (30枚入り)。



この特集は、お子さんに広報紙をぜひ見てほしい! という役員さんの思いからスタート。知らない商品名をスマホで検索、文房具の進化を改めて感じ、母たちもなかなか楽しい時間を過ごすことができました! 生徒のみなさんありがとう!